

## 園長だより「何度言ったらわかるの」 第16号

ご自身のお子さんに対して、この言葉と同様のことを言ったり、言わないまでも考えたりのことのある保護者の方は多いのではありませんか。私もその一人です。私の場合は「何べん言うたらわかるんや！」といういささか品性に欠ける言い方でしたが、その意味は全く同じです。

子どもを育てるといのは本当に大変です。私自身、仕事と子育ての狭間で思うようにいかず、投げ出してしまいたくなったこともありました。時に感情的になってわが子に対して理不尽な叱り方をしたりしたこともあります。そんな時によく口に出してしまったのがこの言葉でした。冷静になって考えてみるとよくわかるのですが、何度言ってもなかなかわかってくれないから子どもなんですね。言い替えれば、一度言えばわかるというのが大人の証であって、何度言ってもわからないのが子どもの証です。大切なことはあきらめずに何度も何度も何度も何度も言って聞かせること。保護者の皆さんが何度も何度も言っているうちに（この回数は分かりませんが・・・）お子さんはできるようになったり、わかるようになったりしていきます。これが「成長する」ということです。この粘り強さが子育てのコツの一つでもあります。子どもは今日言ったことが明日からできるようになるなんていうことはほとんどありませんからね。

子ども達のやる気をそいでしまう言葉はたくさんありますが、保護者や先生を問わず「またか」「何度言ったらわかるの」は相当上位にランクされるネガティブな言葉かけです。保護者の皆さんには使わないように心がけていただきたい言葉かけの一つです。

皆さんの思いを伝えるのも言い方次第でお子さんの受け止め方がずいぶん違ってきます。お子さんが何かの失敗をやらかしてしまった場面を想像してみてください。

A この次はどうしたらいいかな。

B なぜ失敗してしまったの。

皆さんはどちらを選択されますか。どちらも言ったことがあるなぁという感じですよ。Aは失敗を受け入れています。Bは成功を評価しています。アドラー心理学ではAを正解とし、Bは子どものやる気をそぐ言葉かけとされています。でも、私はBもお子さんがなぜ失敗してしまったのかという原因を自ら考え、次の成功につなげていければ全く問題がない言葉かけのように思います。大切なことはお子さんに言葉をかける時の皆さんの表情や口調だと思います。お子さんが失敗するとついつい感情的になってしまいがちです。「なんで失敗しとるんやーっ！」と言いたいのをぐっところえ、「なぜ失敗したのかよく考えてごらん。」「じゃあ、次はどうしたらいいかな？」と優しい口調で言葉をかけてみてください。いつもそうはいかないと思いますが、お子さんを成長させるために意識してみてください。皆さんはお子さんが成長していく様をリアルタイムで見ることができず。本当に素晴らしいことですね。そこに子育て本来の大きな喜びを感じることができるのではないのでしょうか。子育てが終わってしまった私は少しうらやましく思っています。